

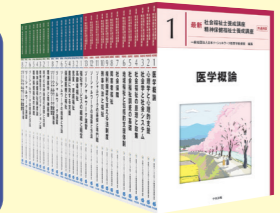
最新

社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座

一般社団法人 日本ソーシャルワーク教育学校連盟 編集

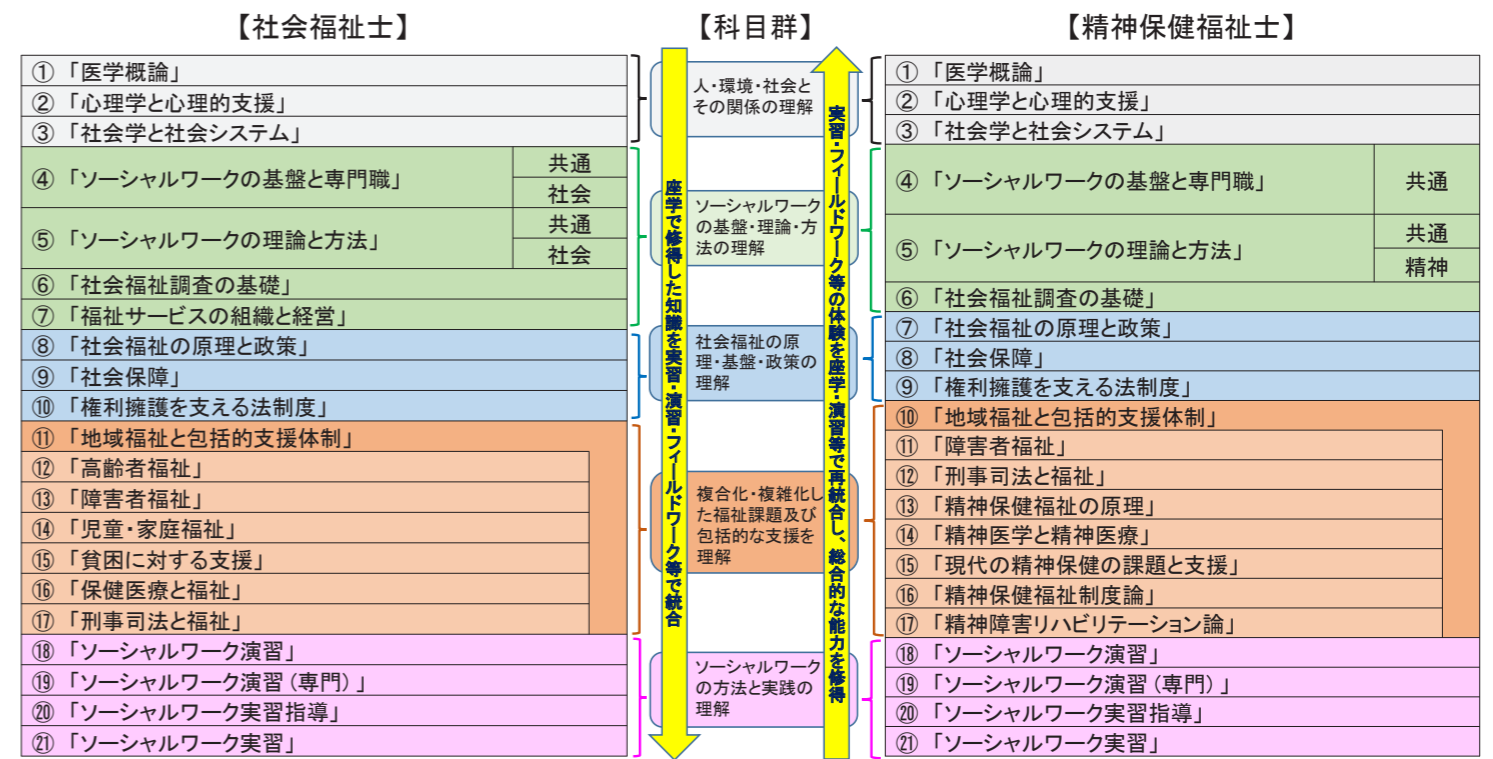
B5判／並製／2色刷 全29巻(共通科目13巻、社会専門科目8巻、精神専門科目8巻)

- 2021年度からの新しいカリキュラムに準拠
- 授業時間を考慮した使いやすいボリューム
- ソーシャルワーカーとしての実践力が育まれる内容
- 現任の社会福祉士・精神保健福祉士の学び直しにも最適



※目次・頁は10月1日現在のものであり、変更となることがあります。

社会福祉士・精神保健福祉士 養成カリキュラム見直しの科目の類型



社会福祉士・精神保健福祉士 共通科目

① 医学概論

【編集委員】石川鎮清(自治医科大学)・菅場一則(埼玉県立大学)・吉川隆博(東海大学)

● 256頁 ● 定価 2,750円(本体 2,500円+税 10%)

- 第1章 ライフステージにおける心身の変化と健康課題
- 第2章 健康及び疾病の捉え方
- 第3章 身体構造と心身機能
- 第4章 疾病と障害の成り立ち及び回復過程
- 第5章 リハビリテーションの概要と範囲
- 第6章 疾病と障害及びその予防・治療・予後・リハビリテーション
- 第7章 公衆衛生

② 心理学と心理的支援

【編集委員】勝又陽太郎(東京都立大学)・内藤佳津雄(日本大学)・藤岡孝志(日本社会事業大学)

● 256頁 ● 定価 2,750円(本体 2,500円+税 10%)

- 第1章 心理学の視点
- 第2章 人の心の基本的な仕組みと機能
- 第3章 人の心の発達過程
- 第4章 日常生活と心の健康
- 第5章 心理学の理論を基礎としたアセスメントと支援の基本
- 第6章 ソーシャルワークと心理学

⑤ 精神保健福祉の原理

【編集委員】岩崎晋也(法政大学)・金子努(県立広島大学)・田村綾子(聖学院大学)・中村和彦(北星学園大学)

● 352頁 ● 定価 3,300円(本体 3,000円+税 10%)

- 序章 「精神保健福祉の原理」とは何か
- 第1章 障害者福祉の理念と歴史的展開
- 第2章 「(精神)障害」と「(精神)障害者」の概念
- 第3章 精神障害者の排除と障壁をめぐる歴史と構造
- 第4章 精神障害者の生活特性
- 第5章 精神保健福祉の原理と理念
- 第6章 「精神保健福祉士」の役割と機能

⑥ ソーシャルワークの理論と方法 (精神専門)

【編集委員】岩崎香(早稲田大学)・鈴木孝典(高知県立大学)・松本すみ子(東京国際大学)

● 352頁 ● 定価 3,300円(本体 3,000円+税 10%)

- 第1章 精神保健福祉分野におけるソーシャルワークの概要
- 第2章 精神保健福祉分野におけるソーシャルワークの展開技法
- 第3章 精神保健福祉分野における家族支援の実践
- 第4章 コミュニティワーク
- 第5章 ソーシャルアクションへの展開
- 第6章 多職種連携・多機関連携(チームアプローチ)
- 第7章 ソーシャルアドミニストレーションの展開方法
- 第8章 関連分野における精神保健福祉士の実践展開

⑦ ソーシャルワーク演習 (精神専門)

【編集委員】岩崎香(早稲田大学)・栄セソコ(桃山学院大学)・田村綾子(聖学院大学)

● 352頁 ● 定価 3,300円(本体 3,000円+税 10%)

- 第1章 精神保健福祉士の演習の意義と目的
- 第2章 ソーシャルワークの課題を通じた演習
- 第3章 支援の場に応じた相談援助の理解
- 第4章 ソーシャルワーク実践のための力の獲得

⑧ ソーシャルワーク実習指導 ソーシャルワーク実習 (精神専門)

【編集委員】中村和彦(北星学園大学)・中村卓治(広島文教大学)・松本すみ子(東京国際大学)

● 352頁 ● 定価 3,300円(本体 3,000円+税 10%)

- 序章 講義、演習、実習の連動
- 第1章 ソーシャルワーク実習の目的と構造
- 第2章 実習先決定に向けた準備
- 第3章 実習先決定後の準備
- 第4章 実習中の学習
- 第5章 実習後の学習
- 第6章 実習の実際

精神保健福祉士 専門科目

① 精神医学と精神医療

【編集委員】伊東秀幸(田園調布学園大学)・竹島正(川崎市精神保健福祉センター)・藤井千代(国立精神・神経医療研究センター)・三澤孝夫(駒澤大学)

● 352頁 ● 定価 3,300円(本体 3,000円+税 10%)

- 第1章 精神疾患総論
- 第2章 代表的な疾患とその症状、経過、予後
- 第3章 精神疾患の治療
- 第4章 精神科医療機関における治療の実際
- 第5章 精神医療と保健、福祉の連携
- 第6章 精神医療の動向

② 現代の精神保健の課題と支援

【編集委員】植田俊幸(鳥取県立厚生病院)・四方田清(順天堂大学)・松本すみ子(東京国際大学)

● 352頁 ● 定価 3,300円(本体 3,000円+税 10%)

- 第1章 精神保健の概要
- 第2章 現代の精神保健分野の動向と基本的考え方
- 第3章 家族に関連する精神保健の課題と支援
- 第4章 精神保健の視点から見た学校教育の課題とアプローチ
- 第5章 精神保健の視点から見た勤労者の課題とアプローチ
- 第6章 精神保健の視点から見た現代社会の課題とアプローチ
- 第7章 精神保健に関する発生予防と対策
- 第8章 地域精神保健に関する偏見・差別等の課題
- 第9章 精神保健に関する専門職種と国、都道府県、市町村、団体等の役割及び連携
- 第10章 諸外国の精神保健活動の現状及び対策

③ 精神障害リハビリテーション論

【編集委員】岩崎香(早稲田大学)・阪田憲二郎(神戸学院大学)・長崎和則(川崎医療福祉大学)

● 256頁 ● 定価 2,970円(本体 2,700円+税 10%)

- 第1章 精神障害リハビリテーションとソーシャルワーク
- 第2章 精神障害リハビリテーションの理念、定義、基本原則
- 第3章 精神障害リハビリテーションの構成及び展開
- 第4章 精神障害リハビリテーションプログラムの内容と実施機関
- 第5章 精神障害リハビリテーションの動向と実際

④ 精神保健福祉制度論

【編集委員】青木聖久(日本福祉大学)・大岡由佳(武庫川女子大学)・大塚淳子(帝京平成大学)

● 256頁 ● 定価 2,970円(本体 2,700円+税 10%)

- 第1章 精神障害者に関する制度・施策の理解
- 第2章 精神障害者の医療に関する制度
- 第3章 精神障害者の生活支援に関する制度
- 第4章 精神障害者の経済的支援
- 第5章 精神障害者と生活困窮

③社会学と社会システム

【編集委員】安立清史（九州大学）・安達正嗣（高崎健康福祉大学）西川知亨（関西大学）

● 256 頁 ● 定価 2,750 円(本体 2,500 円+税 10%)

- 第1章 社会学の視点
- 第2章 社会構造と変動
- 第3章 市民社会と公共性
- 第4章 生活と人生
- 第5章 自己と他者

④社会福祉の原理と政策

【編集委員】 坪洋一（東京都立大学）・伊藤新一郎（北星学園大学）武川正吾（明治学院大学）

● 352 頁 ● 定価 3,190 円(本体 2,900 円+税 10%)

序 章 社会福祉の原理

- 第1章 社会福祉の歴史
- 第2章 社会福祉の思想・哲学、理論
- 第3章 社会問題と社会構造
- 第4章 福祉政策の基本的な視点
- 第5章 福祉政策におけるニーズと資源
- 第6章 福祉政策の構成要素と過程
- 第7章 福祉政策の動向と課題
- 第8章 福祉政策と関連施策
- 第9章 福祉サービスの供給と利用過程
- 第10章 福祉政策の国際比較
- 終 章 これからの社会福祉

⑤社会福祉調査の基礎

【編集委員】潮谷有二（日本社会事業大学）・志村健一（東洋大学）竹本与志人（岡山県立大学）

● 256 頁 ● 定価 2,750 円(本体 2,500 円+税 10%)

- 第1章 社会福祉調査の意義と目的
- 第2章 社会福祉調査における倫理と個人情報保護
- 第3章 社会福祉調査のデザイン
- 第4章 量的調査の方法
- 第5章 質的調査の方法
- 第6章 ソーシャルワークにおける評価

⑥地域福祉と包括的支援体制

【編集委員】白澤政和（国際医療福祉大学）・所めぐみ（関西大学）藤井博志（関西学院大学）・松本すみ子（東京国際大学）渡辺裕一（武蔵野大学）

● 352 頁 ● 定価 3,190 円(本体 2,900 円+税 10%)

- 第1章 地域社会の変化と多様化・複雑化した地域生活課題
- 第2章 地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制
- 第3章 地域福祉ガバナンスと多機関協働
- 第4章 地域福祉の基本的な考え方
- 第5章 地域を基盤としたソーシャルワークの展開
- 第6章 災害時における総合的かつ包括的な支援体制
- 第7章 福祉計画の意義と種類、策定と運用
- 第8章 福祉行財政システム

⑦社会保障

【編集委員】金子充(明治学院大学)・西村淳(神奈川県立保健福祉大学)平岡一（お茶の水女子大学）

● 352 頁 ● 定価 3,190 円(本体 2,900 円+税 10%)

- 第1章 現代社会と社会保障
- 第2章 社会保障の概念や対象及びその理念
- 第3章 社会保障と財政
- 第4章 社会保険・社会扶助・民間保険の関係
- 第5章 社会保障制度の体系
- 第6章 諸外国における社会保障制度

⑧障害者福祉

【編集委員】高木憲司（和洋女子大学）・松岡克尚（関西学院大学）森田久美子（立正大学）

● 256 頁 ● 定価 2,750 円(本体 2,500 円+税 10%)

- 第1章 障害概念と特性
- 第2章 障害者福祉の理念
- 第3章 障害者福祉の歴史
- 第4章 障害者の生活実態とこれを取り巻く社会環境と課題
- 第5章 障害者に対する法制度
- 第6章 障害者と家族等の支援における関係機関と専門職の役割
- 第7章 障害者と家族等に対する支援の実際

⑨権利擁護を支える法制度

【編集委員】齋藤敏靖（東京国際大学）・高山直樹（東洋大学）山本克司（修文大学）

● 256 頁 ● 定価 2,750 円(本体 2,500 円+税 10%)

- 第1章 ソーシャルワークと法の関わり
- 第2章 法の基礎
- 第3章 権利擁護の意義と支える仕組み
- 第4章 権利擁護活動と意思決定支援
- 第5章 権利擁護に関わる組織、団体、専門職
- 第6章 成年後見制度

⑩刑事司法と福祉

【編集委員】伊東秀幸（田園調布学園大学）・水藤昌彦（山口県立大学）森久智江（立命館大学）・山崎康一郎（日本福祉大学）

● 256 頁 ● 定価 2,750 円(本体 2,500 円+税 10%)

- 第1章 「刑事司法と福祉」総論
- 第2章 社会と犯罪
- 第3章 犯罪原因論と対策
- 第4章 刑罰とは何か
- 第5章 刑事司法
- 第6章 少年司法
- 第7章 施設内処遇① 成人
- 第8章 施設内処遇② 少年
- 第9章 社会内処遇①
- 第10章 社会内処遇②
- 第11章 多様なニーズを有する犯罪行為者①
- 第12章 多様なニーズを有する犯罪行為者②
- 第13章 多様なニーズを有する犯罪行為者③
- 第14章 犯罪被害者支援
- 第15章 コミュニティと刑事司法

⑪ソーシャルワークの基盤と専門職

（共通+社会専門）

【編集委員】伊藤新一郎（北星学園大学）・空閑浩人（同志社大学）田村綾子（聖学院大学）

● 352 頁 ● 定価 3,190 円(本体 2,900 円+税 10%)

- 第1章 ソーシャルワーク専門職である社会福祉士及び精神保健福祉士の法的な位置づけ【共通】
- 第2章 ソーシャルワークの概念【共通】
- 第3章 ソーシャルワークの基盤となる考え方【共通】
- 第4章 ソーシャルワークの形成過程【共通】
- 第5章 ソーシャルワークの倫理【共通】
- 第6章 ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲【社会専門】
- 第7章 ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワーク【社会専門】
- 第8章 総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義と内容【社会専門】

⑫ソーシャルワークの理論と方法

（共通）

【編集委員】岡田まり（立命館大学）・中谷陽明（桜美林大学）中村和彦（北星学園大学）・渡辺裕一（武蔵野大学）

● 352 頁 ● 定価 3,190 円(本体 2,900 円+税 10%)

- 第1章 人と環境の交互作用に関する理論
- 第2章 ソーシャルワークの過程 ーケースの発見とエンゲージメント

第3章 ソーシャルワークの過程 ーアセスメント

第4章 ソーシャルワークの過程 ープランニング

第5章 ソーシャルワークの過程 ー支援の実施とモニタリング

第6章 ソーシャルワークの過程 ー支援の終結と結果評価、アフターケア

第7章 ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ

第8章 ソーシャルワークの面接

第9章 ソーシャルワークの記録

第10章 ケア（ケース）マネジメント

第11章 グループを活用した支援

第12章 コミュニティワーク

第13章 ソーシャルアドミニストレーション

第14章 ソーシャルアクション

第15章 スーパービジョンとコンサルテーション

●社会福祉士 専門科目

①福祉サービスの組織と経営

【編集委員】石川久展（関西学院大学）・武居敏（松浜会）松原由美（早稲田大学）

● 256 頁 ● 定価 2,750 円(本体 2,500 円+税 10%)

序 章 この科目が社会福祉士に必要な理由

- 第1章 福祉サービスに係る組織や団体の概要と役割
- 第2章 福祉サービスの組織と運営に係る基礎理論
- 第3章 福祉サービス提供組織の経営と実際
- 第4章 福祉人材のマネジメント

②高齢者福祉

【編集委員】須加美明（目白大学）・中谷陽明（桜美林大学）結城康博（淑徳大学）・和気純子（東京都立大学）

● 256 頁 ● 定価 2,750 円(本体 2,500 円+税 10%)

- 第1章 高齢者と少子高齢社会
- 第2章 高齢者の生活実態とこれを取り巻く社会環境
- 第3章 高齢者福祉の歴史と理念
- 第4章 介護保険制度
- 第5章 高齢者に対する関連諸制度
- 第6章 高齢者と家族等の支援における関係機関と専門職の役割
- 第7章 高齢者と家族等に対する支援の実際

③児童・家庭福祉

【編集委員】岩永靖（九州ルーテル学院大学）・澁谷昌史（関東学院大学）宮島清（日本社会事業大学）

● 256 頁 ● 定価 2,750 円(本体 2,500 円+税 10%)

- 第1章 子ども家庭福祉とは何か
- 第2章 子ども家庭福祉の歴史
- 第3章 子ども家庭を取り巻く現代社会
- 第4章 子ども家庭福祉の支援の基盤
- 第5章 子どもの福祉課題と支援
- 第6章 子ども家庭福祉のソーシャルワーク実践

④貧困に対する支援

【編集委員】岡部卓（明治大学）・新保美香（明治学院大学）行實志都子（神奈川県立保健福祉大学）六波羅詩朗（目白大学）

● 256 頁 ● 定価 2,750 円(本体 2,500 円+税 10%)

- 第1章 公的扶助の概念
- 第2章 貧困の概念と貧困状態にある人の生活実態とこれを取り巻く社会環境
- 第3章 貧困の歴史
- 第4章 生活保護制度
- 第5章 低所得者に対する法制度
- 第6章 貧困に対する支援における関係機関と専門職の役割
- 第7章 貧困に対する支援の実際

⑬ソーシャルワーク演習

（共通）

【編集委員】岡田まり（立命館大学）・添田正揮（日本福祉大学）森田久美子（立正大学）・渡辺裕一（武蔵野大学）

● 256 頁 ● 定価 2,750 円(本体 2,500 円+税 10%)

- 第1章 ソーシャルワーク演習の意義と目的
- 第2章 人と環境の交互作用
- 第3章 ソーシャルワークの対象、役割と機能
- 第4章 コミュニケーション技術と面接技術
- 第5章 ソーシャルワークの展開過程と関連技法
- 第6章 ソーシャルワーク実習後の演習

⑤保健医療と福祉

【編集委員】梅崎薫（埼玉県立大学）・高山恵理子（上智大学）保正友子（日本福祉大学）

● 256 頁 ● 定価 2,750 円(本体 2,500 円+税 10%)

- 第1章 保健医療の課題を持つ人の理解
- 第2章 医療倫理
- 第3章 保健医療の動向
- 第4章 保健医療領域に必要な政策・制度およびサービスに関する知識
- 第5章 保健医療領域における専門職の役割と連携
- 第6章 保健医療領域における支援の実際

⑥ソーシャルワークの理論と方法

（社会専門）

【編集委員】添田正揮（日本福祉大学）・所めぐみ（関西大学）福富昌城（花園大学）

● 352 頁 ● 定価 3,190 円(本体 2,900 円+税 10%)

- 第1章 総合的かつ包括的な支援におけるソーシャルワークの実際
- 第2章 ソーシャルワークにおける援助関係の形成
- 第3章 ネットワークの形成
- 第4章 ソーシャルワークにおける社会資源の活用・調整・開発
- 第5章 カンファレンス
- 第6章 事例分析
- 第7章 ソーシャルワークに関連する技法

⑦ソーシャルワーク演習

（社会専門）

【編集委員】鶴浦直子（大阪市立大学大学院）・所めぐみ（関西大学）野村裕美（同志社大学）・渡辺晴子（広島国際大学）

● 352 頁 ● 定価 3,190 円(本体 2,900 円+税 10%)

- 第1章 ソーシャルワーク演習の意義と目的
- 第2章 ソーシャルワークの展開課程とソーシャルワーカーの営み
- 第3章 実践的にソーシャルワークを学ぶ

⑧ソーシャルワーク実習指導　ソーシャルワーク実習

（社会専門）

【編集委員】伊藤新一郎（北星学園大学）・添田正揮（日本福祉大学）渡辺裕一（武蔵野大学）

● 352 頁 ● 定価 3,190 円(本体 2,900 円+税 10%)

- 序 章 講義、演習、実習の連動
- 第1章 ソーシャルワーク実習の目的と構造
- 第2章 実習先決定に向けた準備
- 第3章 実習先決定後の準備
- 第4章 実習中の学習
- 第5章 実習後の学習
- 第6章 実習の実際